

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	地球市民かながわプラザ
指定管理者	公益社団法人青年海外協力協会・株式会社金港美装
指定期間	H23.4.1 ～ H28.3.31
施設所管課	国際課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

提案どおりに事業を実施し、今期は利用者数が前年比で0.5%増加で、年間目標値を20%超で達成した。収支状況は支出額が収入額を超過しているが、上半期との通算では、収入額の範囲内に収まっており、利用料金収入も7%増加（+1,912千円）していることから、良好な収支状況である。また、開館15周年を記念した各種イベントの開催や常設展示室の無料開放など、事業に施設アピールの工夫が見られ、良好な管理運営状況であることから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月15日	11月22日	○	○	○	無	特になし
11月	12月14日	1月16日	○	○	○	無	特になし
12月	1月15日	2月7日	○	○	○	無	特になし
1月	2月9日	3月14日	○	○	○	無	特になし
2月	3月13日	3月29日	○	○	○	無	特になし
3月	4月15日	5月1日	○	○	○	無	特になし

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p>子どもの豊かな感性の育成や県民の地球市民意識の醸成のための総合的学習拠点、県民の国際交流・協力活動の拠点として、来館者に学習機会や活動の場を提供するなど、施設の効用を高めるため、具体的な事業を提案した。</p> <p>① 常設展示の内容を深化・補完し、展示の充実を図るため、プラザ設置目的を踏まえ、世界の伝統文化、自然、災害、歴史的遺産などをテーマとした企画展を実施し、楽しく学び、豊かな感性を育む機会を提供する。</p>	<p>企画展の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月13日～12月9日「北を彩る小物たち～北方民族の暮らしとデザイン」来場者数4,442人 <p>世界の暮らし、文化を楽しく学ぶため、北海道立北方民族博物館と連携し、北方地域の少数民族のデザイン性にすぐれ、人々の暮らしが感じられる帽子、靴、手袋などの服飾小物を展示した。また、民族衣装の試着や触って楽しめる民族楽器や遊び道具の展示などの体験コーナーを設置した。</p>

	<p>関連企画として、北方民族の生活の様子がわかる、同地域の子どもの写真の展示や服飾小物の視点から北方民族の暮らしへの理解を深めることのできる、イヌイット研究者による講演会を実施した。</p> <p>・1月18日～3月20日「県民が見た世界遺産写真展」来場者数6,883人</p> <p>世界遺産を通じて、世界のくらしや文化、また環境について考える機会とするため、世界遺産及び世界遺産登録を目指す古都鎌倉について、県民から公募した写真やプロの写真家が撮影した写真を展示した。</p> <p>また、世界遺産を学ぶために、世界遺産の基礎知識や危機遺産、武家の古都・鎌倉に関するパネルの展示や資料の閲覧コーナーを設置するとともに、世界遺産の美しい映像が楽しめるよう、展示室内の休憩スペースで、常時、ビデオを上映した。</p> <p>関連企画として、映画「星の旅人たち」の特別上映会やプロの写真家による、歴史・文化・宗教など様々な視点を織り交ぜながら世界遺産写真を紹介した講演会や世界遺産アカデミー研究員による世界遺産の基礎知識などを学べる講座を実施した。</p>
<p>② 外国籍県民の生活支援の観点から、外国籍県民相談事業を実施する。</p>	<p>外国籍県民相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育 相談件数 365件 (10～3月) 窓口 横浜に設置 相談日 週5日 対応言語 中国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語、日本語 ・一般相談 相談件数 485件 (10～3月) 窓口 横浜・川崎・厚木に設置 相談日 (※) 週1～4日 対応言語 (※) 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タイ語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語 ・法律相談 相談件数 57件 (10～3月) 窓口 横浜・厚木に設置 相談日 (※) 週1日、または4日 対応言語 (※) 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語 <p>※窓口によって異なります。</p>

	提案内容	実施状況
2	<p>2 指定管理料について、人件費の抑制により、指定管理者選定時に県が提示した参考価格より43,613千円の大幅な削減を図る提案を行った。</p>	<p>節電等の取り組みを実施したにもかかわらず、24年4月からの電気料金値上げと猛暑等の影響で、電気料金が前年度比で18%増 (+3,982千円) となった。しかし、通信費や消耗品費の節減 (△1,968千円) に努め、利用料金収入の増加 (1,912千円) を図ることにより対応し、提案した指定管理料で適切に指定管理業務を実施した。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額			収入合計	支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入			
募集時の積算額 (参考)		303,192	27,127	0	330,319	330,319	0
予算額	前年度	259,579	20,280	994	280,853	280,854	▲ 1
	上半期	135,037	10,140	497	145,674	140,427	5,247
	下半期	124,542	10,140	497	135,179	140,427	▲ 5,248
	今年度	261,417	20,280	996	282,693	282,693	0 ①
	上半期	136,399	10,140	498	147,037	147,037	0
	下半期	125,018	10,140	498	135,656	135,656	0
下半期実績額	10月	21,030	2,197	0	23,227	23,320	▲ 93
	11月	21,530	2,118	0	23,648	18,343	5,305
	12月	22,030	2,105	0	24,135	20,079	4,056
	1月	19,530	1,906	94	21,530	23,628	▲ 2,098
	2月	19,530	1,934	5	21,469	21,204	265
	3月	21,368	2,962	53	24,383	40,389	▲ 16,006
	今年度 下半期合計	125,018	13,222	152	138,392	146,963	▲ 8,571 ②
	前年度 下半期合計	124,542	12,951	136	137,629	164,597	▲ 26,968
	対前年度下半期比			③	0.6%	-10.7%	
参考	今年度 上半期合計	136,399	15,429	74	151,902	134,441	17,461
	今年度 合計	261,417	28,651	226	290,294	281,404	8,890

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	27,195 人	24,204 人	12.4 %
11月	27,405 人	32,495 人	▲ 15.7 %
12月	25,015 人	24,580 人	1.8 %
1月	22,337 人	24,060 人	▲ 7.2 %
2月	31,872 人	29,925 人	6.5 %
3月	33,365 人	31,136 人	7.2 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	302,000 人	195,034 人	152,818 人	▲ 35.5 %	27.7 %
今年度下半期計		167,189 人	166,400 人	20.0 %	0.5 %
今年度合計	302,000 人	362,223 人	319,218 人	20.0 %	13.5 %

※目標利用者数は年間目標利用者数

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	6 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

事業面・管理運営面において、適切に業務を遂行している。
 特に、事業面では、県民の関心のある企画展の開催等により、利用者数が増加し、過去最高の人数を記録した。

また、県民の国際理解を深めることを目的として、開館15周年を記念して、国際協力に関するパネルディスカッションや県内大学生の活動発表、地球に生きる生命の素晴らしさを謳いあげたドキュメンタリー映画の上映、国際医療支援活動に携わる医師がその活動を通じて体験した世界の紛争地域の実情などを伝える音楽と映像を融合したステージ、家族で楽しめる世界各国の民族楽器の演奏会などのイベントを開催し、利用者からは高く評価された。さらに、記念事業の一環として、施設アピールのために、常設展示室を無料開放し、新たな利用者の掘り起こしにつながる取り組みであったと評価できる。

今後も、引き続き施設の設置目的を踏まえた魅力ある事業を積極的に実施するとともに、新たな利用者の掘り起こしに向けた取り組みについて努めるよう指導していく。